

授業科目	病因と病態Ⅱ				科目区分	選択必修科目	
担当教員	(世話人) 小田 義直 教授				単位数	1単位	
授業概要	主要な病気、病的状態を理解するために、その原因、発病機構、転機について学習し、臨床病学を正しく把握する為に必要な病理学的知識を習得する。 (To master the knowledge of general pathological features in major diseases, you can properly learn about their clinical features including outcomes, pathological conditions and pathogenic mechanisms.)						
全体の教育目標	主要な病気、病的状態を理解するために、その原因、発病機構、転機について学習し、臨床病学を正しく把握する為に必要な病理学的知識を習得する。						
個別の学習目標							
授業計画	回	月日	曜日	時限	授業内容	担当教員	講義室
	1	4/15	月	1	物質代謝異常と退行性病変 ①細胞の正常構造とその病的変化を説明できる。 ②蛋白・脂質・糖代謝異常に大別して理解する。 ③萎縮・変性・壊死・アポトーシスを理解する。	小田 義直 教授 形態機能病理学 TEL : (092) 642-6061 FAX : (092) 642-5968	総合研究棟 2階 205 セミナー室
	2	4/22	月	1	修復機転・奇形 ①創傷治癒の機序と経過を理解する。 ②創傷治癒・免疫・炎症の関係を理解する。 ③奇形の定義と概念及び原因と分類を理解する。	毛利 太郎 助教 形態機能病理学	総合研究棟 2階 205 セミナー室
	3	5/13	月	1	栄養障害と物理化学障害 ①栄養素の欠乏・過剰に伴う病変を説明できる。 ②外傷・熱傷・凍傷などの病変の基本を理解する。 ③放射線障害の病理を学ぶ。	岩崎 健 准教授 病院病理部	総合研究棟 2階 205 セミナー室
	4	5/20	月	1	腫瘍総論 ①腫瘍の基本形態(肉眼像・組織像)を学ぶ。 ②腫瘍の発生と発育及び宿主との関係を理解する。	山本 猛雄 助教 形態機能病理学	総合研究棟 2階 205 セミナー室
	5	5/27	月	1	腫瘍の分類 ①腫瘍の定義と分類について学習する。 ②上皮性腫瘍の分類と組織像を学習する。 ③軟部腫瘍の分類と組織像を学習する。	小田 義直 教授 形態機能病理学	総合研究棟 2階 205 セミナー室
	6	6/3	月	1	外科病理学(1) ①人体解剖とその諸臓器の病理組織像を学習する。	谷口 緑 助教 形態機能病理学	総合研究棟 2階 205 セミナー室

				②病理学における生命倫理の重要性を認識する。		室
	7	6/10	月	1 外科病理学(2) ①日常診療における病理医の役割を理解する。 ②細胞診及び免疫染色の組織像を学習する。	橋迫 美貴子 助教 病院病理部	総合研究棟 2階 205 セミナー 室
テキスト	授業によっては参考プリントを配布する。					
参考書						
成績評価の方法	授業中の態度や質疑応答をもって評価する。					
その他						